

(土)

救いの完成としての再臨

ルカによる福音書二一章20〜28節

その時、人の子が力と大いなる栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。このようなことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの救いが近づいているからだ。(27、28)

主イエスの話は、エルサレムの滅亡から世の終わりへと展開しています。人々が恐怖を感じるるときも、神を信じる者たちは恐れたり氣を失ったりする必要はないとイエスは語られます。なぜなら、世の終わりは救い主キリストが再び来られるときであり、私たちの体全体が罪と死とから完全に解放される救いの完成のときだからです。キリストが来られるまでは、キリスト者は世の人々から迫害を受け、苦しめられると予告されています。けれどもキリストが来られるとき、全ては変わります。審き主の到来に世の人々は恐れおののきますが、苦しめられていたキリスト者は頭を上げ、救い主を喜んで迎えることになるのです。私たちは主の再臨を恐れるのではなく、私たちの救いがついに完成される時として、喜びと期待をもって待ち望む者たちでありたいと願います。